

アントレプレナーシップ教育で育まれる 「ことばの力」の検証

代 表 者：高橋 薫

(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
博士課程学生)

共同研究者：村松 浩幸

(信州大学教育学部准教授)

金 隆子

(山形県米沢市立第二中学校教諭)

金 俊次

(山形県米沢市立第四中学校校長)

村岡 明

(株式会社ジャストシステム部長)

椿本 弥生

(東京大学大学院情報学環特任助教)

堀田 龍也

(玉川大学学術研究所准教授)

研究成果要約

研究活動概要

2008年度版中学校学習指導要領では、すべての教科で言語力を育成することが指導目標として掲げられており、これまで以上に教師が言語力の伸長を意識して指導する必要性に迫られている。本研究では中学校の総合的な学習の時間にアントレプレナーシップ教育（起業家教育、以下アントレプレナー教育）に取り組んでいる山形県米沢市立南原中学校の1年間の実践を、「ことばの力」の変化に焦点を当てて検討する。

本研究は以下の4つの研究から構成される。

【研究1】南原中学校のアントレプレナー教育の概要

同校のアントレプレナー教育を言語力育成という観点から捉え、活動の特徴を分析する。

【研究2】南原中学校の実践の評価

生徒にアンケート調査を実施し、同校の実践を評価する。

【研究3】南原中学校の生徒の「ことばの力」の変容

アントレプレナー教育の前後に生徒が書いた意見文の分析を通して、書く力の変化を分析する。（事前テストと事後テストの被験者内の比較）

【研究4】統制群との比較による「ことばの力」の検証

同校の生徒が書いた意見文と、アントレプレナー教育を行っていない中学校の生徒が書いた意見文を比較する。（事前テスト・事後テスト・遅延テストの被験者間の比較）

事前テストと事後テストは知的財産権に関する話題で意見文を書き、遅延テストは異なる話題で意見文を収集する。

尚、本報告書では、研究3「アントレプレナー教育における「ことばの力」の変容」について報告する。

成果概要

【研究1】南原中学校のアントレプレナー教育の概要

従来のアントレプレナー教育において新商品を企画する展開では、思考力育成が中心であり、自分たちの会社が考えた企画案を教室内の他の生徒に向けて発信することで、付随的にプレゼンテーション力や対話によるコミュニケーション力を養成しようとしてきた。これに対し、本実践では、教室内に留まらないリアルな読み手や聞き手に向けた言語力育成に配慮した活動がデザインされていることが確認された。

【研究 2】南原中学校の実践の評価

1年間の実践終了後に、言語力の伸長について生徒にアンケート調査を行った結果、生徒は実践を通して、言語力に関わる分析力、表現・プレゼンテーション力、論理的思考力について自信を深めていることが明らかになり、授業デザインの効果が確認された。

【研究 3】南原中学校の生徒の「ことばの力」の変容

1年間のアントレプレナー教育の前後に生徒の意見文を収集し、作文の質と量の側面から書く力の変化を調査した。その結果、作文の量のみならず、質も向上させていることが明らかになった。特に、事前テストと事後テストでは、意見文の論証構造が変化しており、論拠を示して意見を述べたり、反論を想定して書いたりするなど、より高度な論証が行えるようになったことが確認された。

【研究 4】統制群との比較による「ことばの力」の検証

統制群のデータと併せて、現在分析を進めている。

成果活用について

【研究 1】は、2008年10月日本教育工学会第24回全国大会(上越教育大学)にて発表した。

高橋薫・村松浩幸・金隆子・金俊次・村岡明・椿本弥生・堀田龍也(2008)

中学校の総合的な学習におけるアントレプレナーシップ教育の試み—言語力育成の観点から実践を振り返る—, 日本教育工学会第24回全国大会講演論文集, 649-650.

【研究 2】は、現在、学会誌に投稿中である。

高橋薫・村松浩幸・椿本弥生・金隆子・金俊次・村岡明・堀田龍也(投稿中)

言語力育成から見る中学校アントレプレナー教育実践の評価

【研究 3】は、2009年9月日本教育心理学会第51回総会(静岡大学)にて発表予定である。

高橋薫・村松浩幸・金隆子・金俊次・村岡明・椿本弥生・堀田龍也(2009)

アントレプレナー教育における「ことばの力」の変容

今後の研究課題

【研究 3】から、本実践では、産出する作文の量のみならず、質をも向上させており、より高度な論証を行っていることが確認された。しかし、本調査で得られた書く力の向上は、知的財産権に関わる体験の積み重ねによってもたらされた結果であり、他の領域には転移しないという可能性も否定できない。今後は、統制群を設け、事前・事後テストの他に、知的財産権以外のテーマで遅延テストを加えた調査【研究 4】を予定している。